

ホウの
自治基本条例メモ



第28話

お問い合わせ
政策調整課 (米原庁舎)
☎52-6626
☎52-5195

<p>調査には、自治基本条例がどれだけ知られているかの質問もあるんだよね。</p> <p>市が毎年、より良いまちにするためにみんなの声を聞いている調査のことだね。</p> <p>平成24年度の米原市民意識調査の結果について話をしているのよ。</p>	<p>この結果、もう見た？</p> <p>まだ見ていないんだ。見せて、見せて！</p> <p>何の話をしているの？</p>
<p>僕達も頑張つて、自治基本条例をわかりやすく伝えていくぞー！</p> <p>意外と20代、30代の若い人達に知られていないだね。</p> <p>でも、7割の人は自治基本条例について知らないのよね。</p>	<p>で、気になる質問の結果はどうだったの？</p> <p>自治基本条例を知っている人は、31.8%で、昨年より2.4ポイント増えたのよ！</p> <p>うわー！やったあ！これも僕達のおかげかもね。</p>

その他、詳しい調査結果については、市公式ウェブサイトを見てね。



政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。熱意をもって活動されているみなさんの「心意気」をレポートします。

モ ス NPO法人 MOSスポーツクラブ

- 代表 酒居 久和 ● メンバー 164名
- 活動日 種目によって異なる
- 入会金 2,000円 年会費 3,000円



辺りはすっかり暗くなった夜の体育館。明りが灯り、なにやらにぎやかな声が聞こえてきます。中に入ってみると、大人から子どもまで様々な年代の方が、楽しそうにスポーツに汗を流されていました。

今回取材したMOSスポーツクラブは、市民の健康づくりのために総合型のスポーツクラブをつくってほしいという要望から結成された団体で、MOSとは、米原地域の小学校区、米原・郷郷・醒井の3つの頭文字を意味しているそうです。

取材当日は、バドミントンや卓球、ビーチボールバレーが行われていました。少し時間をもらい、バドミントンをしている子どもに話を聞いてみたところ、「友達と仲良く活動できるのが良い。先生が本格的に指導してくれるので、上達してきた」と楽しさを語ってくれました。

指導をしている先生も「基本をしっかりと指導して、子どもたちが楽しめるように考えている」と、意気込んでおられました。

「スポーツを通じて地域のコミュニティ形成をしていきたい。大人も子どもも和気あいあいと楽しくスポーツをしている姿を観るのはうれしい。もっと多くの人に気軽に参加していただきたい」と代表の酒居さん。

4月には「まいばら入江干拓マラソン」も企画されているそうです。どなたでも参加できるということですので、運動不足解消に、ぜひチャレンジしてみませんか。

掲載希望はこちらまで

お問い合わせ 政策調整課 市民協働推進室(米原庁舎)
☎52-6626 ☎52-5195